

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和三年三月度 入選句（投稿総数二千十三句・小中学投句数千五百五十句）

特選

蛙の子跳ぶのを夢に空を見る 大垣市 山田 伊真(小六)

春になり田畑や小川の辺りに、蛙が見られるようになりました。
ただ、春の初めのころの蛙は、左程大きくなくてまだ「おたまじゃくし」から蛙になったばかりの「蛙の子」だったのでしよう。「ほくも早く跳んでみたいな」そんな蛙の気持ち、様子を「跳ぶのを夢に空を見る」と、跳ぼうと空を見て構えている瞬間を捉えて書いているところがすばらしいです。春を迎えるうれしさ喜びが読む人にも伝わってきます。

しゃぼん玉夢といっしょにとんでいけ 大垣市 加納 里悠(小六)

「しゃぼん玉」は「春の季語」です。「春」は「新しい年度」の始まりで、誰もが「今年度はこれをがんばろう」という気持ちを持つことが多いですね。そして、自分の持った夢が、空高く飛んでいく「しゃぼん玉」のようにと思いつながら「しゃぼん玉」を飛ばしていたのでしようか。「作者の夢」は何なのだろう。叶えられるといいなと共感できる俳句です。

妹の手の中いっばい春の花 加茂郡川辺町 小林 歩野(花中二)

作者は、妹さんが摘んできた花を作者に「こんなにあくさん咲いていたよ」とでも言ってみせたのでしようか。それとも嬉しそうに作者の方へ近づいてきたのでしようか。その様子は何も書かれていませんが、仲の良い兄妹であることが伝わってきます。花の名前はなくても「手の中いっばい」という言葉で「春の花」がいろいろな想像でき、春を喜ぶ二人の気持ちが伝わってきます。

秀逸

足跡をたどり見つけたふきのとう 加茂郡川辺町 幸村 直輝(中二)

桜の木学校ピンクに染ってる 加茂郡川辺町 則武 怜那(中二)

ふきのとう光に呼ばれ出てくるよ 加茂郡川辺町 土屋 亘(中二)

春風がほおを優しくなでていく 加茂郡川辺町 徳富 陽彩(中二)

桜道歩く僕らのスタートに 加茂郡川辺町 山田 望夢(高一)

卒業式涙の先に見える光 加茂郡川辺町 村田 大稀(高一)

さよならとよろしく交す桜の前 加茂郡川辺町 飯田 美聡(高一)

さくらの木みんなのえがおふえている 大垣市 長谷部 結香(小五)

桜ちりひらひらおどるバレリーナ 大垣市 小川 誠悟(小六)

ゆきだるまほっぺがまっ黒ふいてやる 大垣市 吉國 友菜(小四)

入選

入学式やっど僕にも後はいが	加茂郡川辺町	酒向	律希(中二)
さくらのねはなびらべんとう入ったよ	大垣市	根本	晃誠(小四)
ほたるいかくらやみひかりうみのほし	大垣市	日比	麻鈴(小五)
かざったらひな人形がうれしそう	大垣市	外花	瑠彩(小五)
さくらさきピンクの手紙とどけもの	大垣市	大橋	れん(小六)
登校中元気をもらう春の虹	大垣市	栗田	あおい(小六)
なのはながかぜにゆられておどりだす	大垣市	小坂	南帆(小三)
春のなみざぶんざぶんと北のしま	大垣市	戸田	愛梨(小三)
春の山どうぶつたちがおめざめだ	大垣市	豊永	港与(小三)
たんぼぼだわたしをみててわらってる	大垣市	林	美樹(小三)

入選

はるの山いろんなはなのカーペット	大垣市	やまもと	かほ(小三)
ゆらゆらとダンスをしてるつくしさん	大垣市	たに	心晴(小三)
おでんたべパパのメガネがくもったよ	大垣市	とみ田	まお(小二)
しゃぼんだまあおいそらがうつつたよ	大垣市	林	未来也(小二)
さくらさけいよいよぼくはにねんせい	大垣市	山田	圭悟(小二)
きねんじゆのわたしのさくらとせいくらべ	大垣市	いとう	のぞみ(小三)
ひさしぶりわたし元気よひな人形	大垣市	渡部	美響(小三)
春が来た六年生にありがとう	大垣市	豊永	蕾夢(小三)
さかあがりせなかをおすよはるのかぜ	大垣市	古川	颯人(小四)
たんぼぼがかぜとおどってたのしそう	大垣市	竹中	ゆら(小四)

選者吟

ぼつぼつと輪中の里に桜咲く

祐子